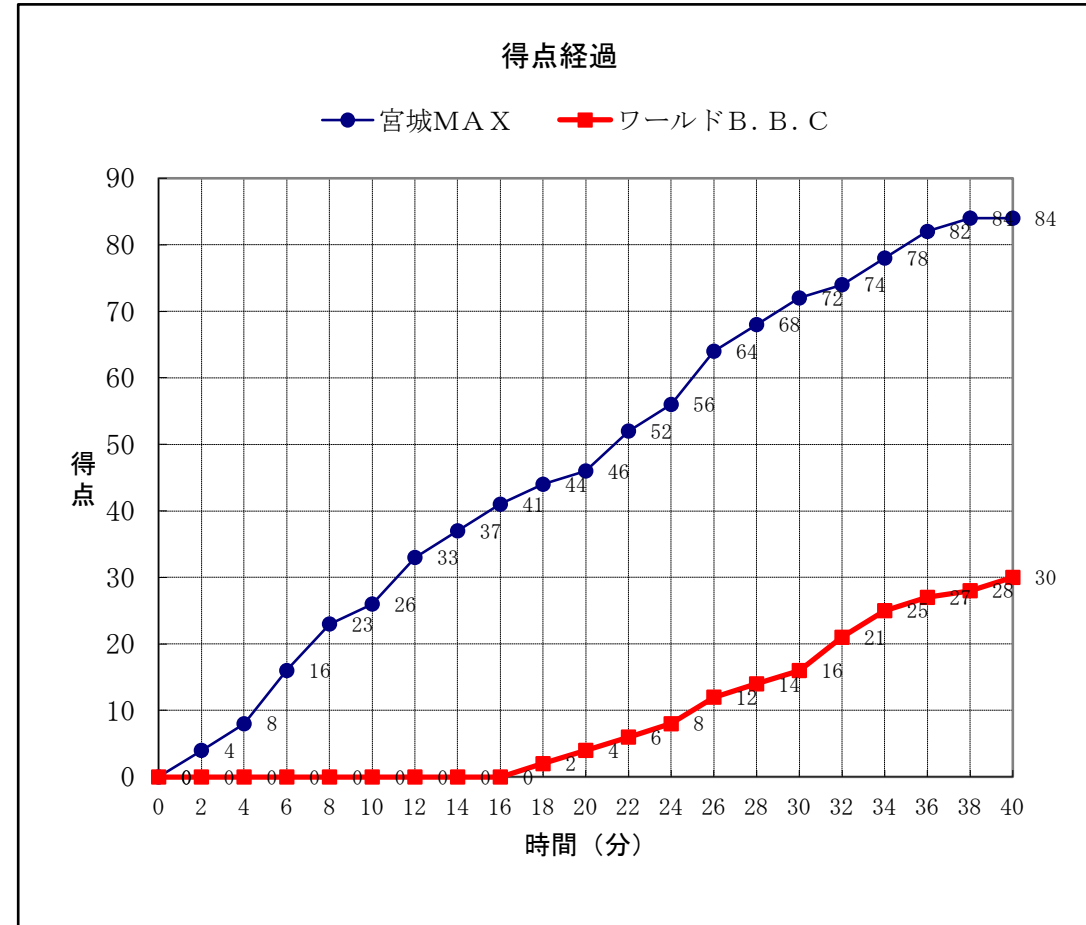


「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪  
第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表

2012年5月2日 18時30分開始																											
2回戦 東京体育館 A - 3																											
◎ 宮城MAX (東北) 84 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>26</td><td>1クォーター</td><td>0</td></tr> <tr><td>20</td><td>2クォーター</td><td>4</td></tr> <tr><td>26</td><td>3クォーター</td><td>12</td></tr> <tr><td>12</td><td>4クォーター</td><td>14</td></tr> </table> 30 ワールドB.B.C (東海北陸)																26	1クォーター	0	20	2クォーター	4	26	3クォーター	12	12	4クォーター	14
26	1クォーター	0																									
20	2クォーター	4																									
26	3クォーター	12																									
12	4クォーター	14																									
番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則										
4	豊島 英 (2.0)	4	0	2	0	-	-	2	4	吉原 大貴 (2.5)	0	0	0	0	-	-	0										
* 5	藤本 怜央 (4.5)	39	0	18	3	-	-	2	* 5	加藤 和徳 (3.0)	6	0	3	0	-	-	0										
* 6	東海林 和幸 (1.0)	0	0	0	0	-	-	1	* 6	神谷 泰範 (2.0)	4	0	2	0	-	-	2										
7	五十嵐 雄也 (2.5)	0	0	0	0	-	-	0	7	竹内 厚志 (3.0)	2	0	1	0	-	-	3										
8	佐藤 聡 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	8	長谷川 康之 (2.0)	0	0	0	0	-	-	1										
* 9	増渕 倫巳 (3.0)	13	0	6	1	-	-	0	* 9	竹中 久雄 (2.0)	2	0	1	0	-	-	3										
* 10	中澤 正人 (4.0)	15	0	7	1	-	-	0	10	加藤 直生 (1.5)	0	0	0	0	-	-	1										
11	加藤 芳博 (3.0)	1	0	0	1	-	-	0	11	早稲田 正浩 (2.0)	3	0	1	1	-	-	1										
12	大槻 智志 (4.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 12	白丸 文明 (3.5)	11	1	4	0	-	-	3										
13	高橋 浩則 (2.5)	2	0	1	0	-	-	1	* 14	杉浦 寿信 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0										
14	向後 寄夫 (1.5)	4	0	2	0	-	-	1	15	大島 朋彦 (4.0)	0	0	0	0	-	-	0										
* 15	藤井 新悟 (1.5)	6	0	3	0	-	-	0	16	辰巳 晃一 (3.5)	0	0	0	0	-	-	0										
16	菅原 志朗 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	18	安藤 洋幸 (1.0)	2	0	1	0	-	-	0										
									19	児玉 慎也 (2.0)	0	0	0	0	-	-	0										
HC	岩佐 義明								HC	杉浦 寿信																	
AC	石川 大介								AC	小川 智樹																	
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	寺島 悦子																	
マネージャー	岩佐 絵里								マネージャー	前田 麻美																	
マネージャー	会田 優								マネージャー	小崎 祐美子																	
トレーナー	岩佐 康太																										
合計		84	0	39	6	0	0	7	合計		30	1	13	1	0	0	14										
主審： 岸良太郎 副審： 斉藤登 副審： 田端洋																											



〔戦評〕

【1Q】 宮城MAXは、#5・6・9・10・15、ワールドBBCは、#5・6・9・12・14で、ジャンプボールは宮城MAXのボールでスタート。#5がランニングシュートで先制する。ワールドBBCにボールが移るもカットボールで#5が2本目を決める。ワールドBBCは宮城MAXの果敢なディフェンスに#5がインサイドに入るも守られてしまい、なかなか点を決めることができない。試合は、宮城MAXの#15からの正確なパスが冴え渡り、センター陣も確実に点を決め、26点宮城がリードして終了。

【2Q】 宮城MAXの#9によるドライブや、#15の周りを良く見る力、#10、#5のインサイドシュートで点差を41点差まで広げる。ワールドBBC#5が相手を使ったシールプレーにより、初の得点を決める。その後、宮城MAXは、#5のフリースローを確実に2本決め、また差を広げる。ワールドBBCも#9のアウトサイドシュートを決めるが46対4で前半を終える。

【3Q】 後半は、ワールドBBC#12のアウトサイドシュートから始まり、宮城MAXも#13のインサイドシュートを決める。ワールドBBCは果敢にアウトサイドから攻めるが宮城MAXの張り出すディフェンスにより得点を決めることができない。ワールドBBC#6のインサイドシュートがなかなか決まらず、アウトサイドシュートで攻める。このクォーター前半あたりで宮城の#5がベンチへ下がる。宮城が#14、#10のランニングシュートとアウトサイドシュートにより、さらに差を広げた。ワールドBBCは終了間際に#18がランニングシュートを決め、72対16で終了。

【4Q】 ワールドBBCはプレイヤー全員でシュートを打つも得点へつながらず、シュートが決まない。一方、宮城MAXはカットインプレーやドライブによる追加点が増えていく。終盤になり、宮城がプレイヤーの入れ替えを行い、センターのいない状態となった。その際にワールド#12のアウトサイド、#5の高さを使ったインサイドでの得点を重ね、この試合最多の14得点をあげた。1試合を通し、リバウンドの強さ、パスの正確性、インサイドでの勝負を制した宮城が84対30とし、勝利した。

(担当：内木/間下/椎名)